



# 12月の園だより

令和6年12月2日  
目黒区立菅刈保育園長

寒い中でも子どもたちは裸足になって園庭で遊んでいます。3歳児クラスの子は朝一番に園庭へ出ると、マットを使って家を作り始めました。赤ちゃんの家や恐竜の家を作りながら「ここは恐竜しか入れない」と自分なりの好きな世界を再現し広げていきます。「いってらっしゃい」「ただいま」のやり取りを通しながら自分たちの居場所が作られ、友達が待っていてくれることの安心感が伝わってくるようです。

1歳児クラスが玄関で靴を履こうとしているので「どこ行くの」と聞くと「お庭」と子どもたちが教えてくれました。これから自分がどこに行くのかしっかり分かっているということです。「いってらっしゃい」と言うと元気に手を振って出かけていく姿が頼もしいです。そして、園庭に出ると「見て」と赤い実を見せてくれました。小さい小さい実です。他の子も「なんだ」と覗き込み“私も欲しい”というように「あか」「あか」と探し始めました。小さい赤い実は目を凝らさないとなかなか見えません。それでも一人の子が「あった」と見つけるとまた集まり「あか」と言って大事そうに手に持ちます。何度も何度も繰り返すうちに後から来た子が“自分にはないよ、欲しいよ”という思いを込めて「あか」と言っていました。その気持ちを通じたのでしょうか。いくつか手に持っていた子がその子のバケツに赤い実をポトンと落してくれたのです。「あか」と今度は喜びのあかに変わっていました。その後葉っぱを見つけた子がまた「あか」と教えてくれました。ここにも赤があったと発見し喜び姿が可愛かったです。バケツの中に葉っぱ、実を入れて他の保育士にも見せていました。同じ興味を持った子ども同士の繋がりが園庭では沢山見られています。保育園の集団で育ち合うという瞬間を大切に保育者は見守っていきます。

クリスマスやお正月など、家庭で過ごす中で伝統文化に親しむ機会があります。それぞれが家族で経験したことが更なる遊びの広がりにつながっていくでしょう。1月の新年に「ただいま」「おかえり」の気持ちで登園してくれるよう職員一同心待ちにしています。良いお年をお迎えください。

## 今月の予定

冬の子ども会（3、4、5歳児クラス）  
身体計測（乳児）  
身体計測（幼児）  
避難訓練

※29日（日）から1月3日（金）  
まで保育園はお休みです。

## ～菅刈通信～

今月は子育て支援係より  
講座の様子をお知らせします



保育園では子育て支援の一環として地域の親子が来園し、園児と同じ空間で遊ぶ園庭開放やクラスと一緒に過ごす体験保育を行っています。保育士による絵本の読み聞かせやリズム遊び、季節に合わせたお楽しみ会なども開催しています。また、看護師による歯磨き指導や栄養士の食事相談など多職種による育児講座も好評です。  
入園していないご兄弟も参加できます。ぜひ、地域のお知り合いの方もお誘いいただき、ご参加お待ちしております。



### きりん組（5歳児クラス）

小さな赤い実を見つけると「秋の西郷山（オリエンテーション）で見つけたヒメリンゴじゃない」「こんなに小さかったっけ」「ヒメリンゴは木になっていたよ」と子どもたち同士で意見を交わしていました。相手の意見を「違う」と否定するのではなく「自分はこう思う」と伝え合う姿が素敵です。松葉はオオバコに見立てて、オオバコ相撲ならぬ松葉相撲で盛り上がっていました。掃除していた地域の方にも「この花の名前は何か」と積極的に声を掛け「これは〇〇だよ」と教えてもらって、それもまた新たな発見になったようです。

子どもたち自身が様々な体験を通して「知っている」という自信や「調べてみよう」という意欲につながられるよう、発見や気づきに寄り添っていきたいと思います。



### 菅刈公園の遊びポイント紹介！！ （0，3，5歳児編）



### つぼみ組（0歳児クラス）

広い芝生の上を這い這いしたり、歩いたりするのが大好きなつぼみ組の子どもたち。平らな場所や起伏のある所を歩いて保育士に行きたい方向を「あっち」と指をさして教えてくれます。また、探索する中で「葉っぱだよ」と保育士が落ち葉を見せると、子どもたちは手を伸ばして拾ってみたり、指先でちぎってみたりしています。保育士が空中に落ち葉を飛ばすと両手を広げて「きゃー」と喜び、満面の笑みで「もう一回」と伝えてくれるようになりました。

これからも季節の自然に触れ、楽しみながら身体を動かして子どもたちと遊んでいきます。



### りす組（3歳児クラス）

保育士が「公園に着いたら何して遊ぼうかな」と声を掛けると「氷鬼がいいな」「鬼が増えるやつもやりたい」と子どもたちはみんなで一緒に出来る好きな遊びを楽しみにしています。広場に書いて「氷鬼やりたい人この指止一まれ」と一人の子が声を掛けるとやりたい子が集まってきて遊び始めました。「鬼にタッチされたら氷みたいに動かないんだよ」「助けるから待ってて」「タッチしたから逃げていいんだよ」と友達同士で教え合いながら氷鬼を楽しんでいました。

簡単なルールのある遊びを取り入れて、ルールを守りながら友達と一緒に遊ぶことの楽しさを感じられるようにしていきたいと思います。

